

パイロキープTS2000プライマーC 白

株式会社ビルブランド

パイロキープTS2000プライマーCは、「ティスモ」チタン酸カリウム繊維と特殊変性シリコーン樹脂からなる耐候性、耐薬品性に優れた安全性の高い塗料です。

コンクリート下地の場合、パイロキープTS2000上塗りの下塗り（シーラー・プライマー）として使用します。

◇特長

1. 安全性に優れている。（J w w w a K 143 の溶出試験、厚生省告示 20 号重金属の溶出試験及び材料の規格適合）
4☆☆☆☆規格
2. 耐薬品、耐溶剤性に優れている。（トルエン、キシレン、メタノール、ベンゼン、MEK 等 1 週間浸漬合格）
3. 柔軟の上、高緻密で水蒸気透過性が低く防水性を有する。（JIS A1404 10 5 透水性試験 0.01g）
4. コンクリート・モルタルへの密着性に優れている。（コンクリート初期接着性 39kgf/c m²）

◇性状及び施工要領

- ①混 合 比 主剤：硬化剤＝70：30（重量比）小分けする場合は計量器にて計量小分け願います。
- ②可 使 時 間 1時間以内（20℃）高温期、液温の高い場合は極端に可能使用時間が短くなる場合が有ります。
2液性塗料は経時により粘度が上がります。施工中に粘度の上がった場合はシンナー追加下さい。
- ③乾 燥 時 間 指触乾燥：3時間程度（20℃）、 硬化時間：6時間程度（20℃）
※寒冷期や作業を急ぐ場合は別途（硬化促進剤を1～2%添加する場合もあります）
- ④塗り重ね時間 標準6時間以上（タックが残っていても作業に支障がなければ塗り重ねは可能です）
- ⑤塗 装 方 法 刷毛、ローラー、吹付け（※パイロキープTS2000及びTS2000プライマーCのローラー
塗りは泡噛み、泡残りしやすいです。高い精度を必要とする現場ではご注意下さい。
泡が発生した場合はローラー又は刷毛通しして消泡して下さい）
吹付け（カップガン等スプレー）のチップは1.2mm.程度でウレタン吹付けの要領です。
- ⑥希 釈 溶 剤 パイロシンナー（ウレタンシンナーの代用可能）
- ⑦希 釈 率 5～15%
- ⑧比 重 1.00±0.05（主材）
- ⑨加 熱 残 分 60.0±1.5%（主材）
- ⑩粘 度 1000～4000 Pa・s

『パイロキープTS-2000のコンクリート下地の標準塗装仕様』

工 程	使 用 材 料 名	塗布量[kg/m ²]	塗 装 間 隔 (20℃)	希釈率[w(%)]	塗 装 方 法
1 素 地 調 整	塗装面に付着した汚れやバリ、レイトンス等は必要に応じ電動工具等を用いてケレンする。				
2 下 地 調 整	塗装下地にジャンカ、豆、不陸等がある場合は必要に応じ水性エポキシモルタル及びカチオンセメントモルタル等を使用し下地調整して下さい。				
3 下 塗 り	TS-2000 プライマーC 白	0.15（1回）	標準6時間以上	5～15	刷毛、ローラー、スプレー
4 上 塗 り	TS-2000 上塗り	0.12～0.15（2回）	標準6時間以上 養生24時間以上	5～15	刷毛、ローラー、スプレー

※施工上の注意

1. 塗装前に主剤、硬化剤を規定割合で混合し、十分に攪拌して下さい。
2. 夏場の虫の付着、冬場の低温による養生時間の延び等、季節要因を考慮した現場管理をお願いします。
3. 一度に多量の混合液を作ってしまうと、刷毛作業等ではかえって作業性が悪くなりますので、気温による可使時間に注意をはらって混合量を決定して下さい。
4. 素地の含水率（8%未満）です。コンクリート、モルタルの場合、雨水、結露等で含水して黒っぽい場合は塗装不可です。
5. 強溶剤塗料です。防毒、火気等の安全管理には十分注意して施工願います。

* 不明な点は担当者までお尋ね下さい。